

宇陀市 保養センター事業特別会計

# 経営健全化計画書

【平成 21 年度～平成 32 年度】

平成 22 年 3 月

平成 25 年 3 月変更

奈良県 宇陀市

## 目 次

1. 施設概要と経営現況施設	2
(1) 保養センター美榛苑の沿革	
(2) 施設の概要	
(3) 従業員数	
(4) 利用料等	
(5) 経営の現況	
2. 資金不足比率が経営健全化基準以上となった要因	4
3. 公営企業の経営の健全化の基本方針	4
4. 計画期間	5
5. 資金不足比率を経営健全化基準未滿とするための方策	5
収支決算関係分析	6
6. 各年度の方策に係る収入及び支出に関する計画	7
収支計画（収益的・資本的収支）	8・9
7. 各年度の資金不足比率の見通し	7
8. その他経営の健全化に必要な事項	10

# 1. 施設概要と経営現況

## (1) 保養センター美榛苑の沿革

保養センター美榛苑（以下「美榛苑」という。）は、住民の休養と健全な娯楽に供するため、宿泊事業として設置されたもので、市民を始め、宇陀市を訪れる観光客への宿泊・宴会・休憩・温泉入浴の場を提供する市営の公共施設として運営されてきた。

- ・昭和55年11月 榛原町老人福祉センター 美榛苑 竣工
- ・昭和56年11月 本館宿泊棟完成 名称も保養センター美榛苑に
- ・昭和63年10月 温泉実用化
- ・平成2年5月 新館宿泊棟・大浴場完成
- ・平成6年4月 別館（宿泊棟・浴場・レストラン榛奈）完成
- ・平成8年6月 大宴会場棟完成
- ・平成18年1月 宇陀郡内4町村合併により、宇陀市営保養センター美榛苑として出発
- ・平成22年10月 指定管理者制度導入
- ・平成25年4月 指定管理者による運営継続（3年間）

## (2) 施設の概要

- ・建物 鉄筋コンクリート造り3階建て 一部4階建て 7,569㎡
- ・客室 宿泊全室 43室（190人収容）、大小宴会場8室（350人収容）、会議室1（30人）
- ・その他 レストラン榛奈、宿泊 宴会用大浴場1、日帰り入浴場1、売店、カラオケルーム、ゲームコーナー、駐車場130台、送迎バス4（大型1中型3）、敷地面積15,890㎡
- ・温泉 ナトリウム・炭酸水素塩泉（重曹泉） 効能:神経痛、関節痛、冷え性、疲労回復等、泉温22.5℃（地下450mからくみ上げ） 循環式  
キャッチフレーズ「奈良県下初の療養温泉」「ツルツルすべすべの美人の湯」  
「目をみはる温泉の泉質と効能」

## (3) 従業員数（株休暇村サービス（平成25年1月1日現在））

- ・職員 社員 5人
- ・パート職 69人（登録雇用人数、勤務は利用状況によって変化）

## (4) 利用料等（税サ込み）

- ・宿泊料金 1人1泊 4,725円（食事費別、休前日は1,050円加算）  
1泊2食付き 9,200円～  
宿泊プラン 味絵巻 8,925円～ 宴会プラン 4,620円～

## (5) 経営の現況

### ①概況

昭和63年10月の温泉実用化以来、今日まで多くの方々の利用をいただき、ピーク時の平成7年度では、宿泊35千人、宴会休憩45千人、レストラン155千人、温泉入浴162千人の延べ397千人もの利用者があったが、バブル崩壊に象徴される景気の急激な悪化と長引く経済の低迷等により、利用客が徐々に減少し、さらに近隣に新しい同種の温泉施設が相次いでできたことも利用客減少に拍車をかけた一因となっている。

平成20年度では、宿泊18千人、宴会休憩28千人、レストラン51千人、温泉入浴74千人の延べ171千人となり、ピーク時に比べ43%の減少となり、これに伴い、収支も平成8年度までは黒字であったが、翌年度から赤字となり、以降年々赤字が累積し、平成20年度決算においては、14億円余の累積負債を抱えることになった。

指定管理制度導入後の平成22年度、23年度は黒字決算となり、資金不足額も減少した。

### ②赤字の原因

収支構造悪化の原因として、外的要因としての競合施設の増加や景気の悪化、内的要因としての施設設備の老朽化や低いサービス水準等による利用収益の減少と、施設拡張によって肥大化した維持管理経費及び金利負担並びに硬直化した人件費等による費用増大から収支バランスが取れなくなり赤字経営に陥ったこと。また、長年の構造的な要因として、美榛苑は公営企業会計による独立採算制の経営方式のため、施設整備において発行した企業債18億円の返済とその利子を含め、今日まで24億円余りを自力で返済してきたが、その返済額は単年度あたり1億3千万円にのぼり、収益収支で賄うことができず、結果として赤字が膨らんでいくこととなった。

### ③経営改善へ向けた取り組み

美榛苑の経営について抜本的に見直しを図ろうと、民間的経営感覚の導入、特に接客や企画部門の強化を図るとともに、コスト削減や施設設備面における改善事項の検討を進めるため、平成19年11月から民間経験者のマネージャーを設置。従業員への意識改革のための指導及び研修会の実施、業務分析・作業工程の見直しによる人件費の削減、料金の見直し等による収益アップを図った。

平成21年8月には、総務省の地方公営企業経営アドバイザー派遣事業を受け、有識者による経営の改善策等についてアドバイスを受け、できるところからの改善策を実施した。

さらに同年11月には、財政健全化法に基づく個別外部監査を受け、民間監査法人による個別外部監査報告についても本計画に反映させている。

議会の動向では、平成20年9月に美榛苑経営検討特別委員会が設置され、平成21年4月には経営改善への5提言があり、平成22年度末までに単純営業収支の黒字化を果たせなけ

れば、廃止又は民間譲渡等、事業の存廃を含めて検討することとなった。

なお、同年 5 月に庁内関係部署による美榛苑運営検討委員会を設置し、庁内横断的に経営改善策について検討してきた。平成 22 年 10 月より指定管理者制度を導入した結果、単純営業収支の黒字化を果たしたので、第 1 期において、事業存廃の検討をしたところ、継続する事とし、平成 25 年 4 月より指定管理者による 3 年間の事業継続を決定した。

## 2. 資金不足比率が経営健全化基準以上となった要因

温泉掘削、別館や新館、宴会場・駐車場整備工事など、平成 8 年度までに施設整備のために企業債を増発し、企業債元金償還と支払利息が膨らんだうえ、利用者も平成 8 年度をピークに年々減少傾向になり、赤字が続いている状況にある。

主な経営状況の分析として、(1) 単年度損失が生じている要因 (2) 資金不足比率が健全化基準以上になった要因に分けて考えてみる。

### (1) 単年度損失が生じている要因

- ① 過剰な施設整備に起因する多大な維持経費及び金利負担
- ② 直営方式による固定費（人件費）の高水準
- ③ 外的要因（競合施設の増加、景気の悪化等）や内的要因（経営ノウハウ不足、顧客ニーズの把握不足、モチベーション意識の希薄化等）に伴う集客力の低下に基づく営業収益の減少

### (2) 資金不足比率が健全化基準以上になった要因

- ① 高齢者福祉施設から観光施設としての完全な脱却がなされていないため、顧客層に広がりがなく収益性が低い。
- ② 施設の機能に応じた負担区分（一般会計負担又は特別会計負担）が不明瞭で、大規模施設整備等に対する投資の大半を自己財源で賄ってきた。
- ③ 営業収益の悪化に伴い、金融機関等の一時借入金残高が増加し、企業債償還を含めた毎年度の支払利息等が多額の負担になった。

【参照】「保養センター美榛苑事業 収支決算関係の分析」

## 3. 公営企業の経営の健全化の基本方針

経営の健全化にあたっては、次の 2 点を柱とする。

### (1) 指定管理者制度を導入し、施設を存続

- ① 利用料金制を採用することで指定管理者のインセンティブを高め、収益性を向上させることにより補助金・出資金をはじめとする市の財政負担を最小限の影響に留める。
- ② 将来投資額(修繕・投資)を抑制しながら、営業活動を継続する。
- ③ 施設・設備のコスト削減など効率化を図り、経費等を抑制する。  
(厨房・大浴場各 2 箇所、レストラン・別館部門の見直し等)
- ④ 魅力ある営業活動による収益増加を図る。

- ⑤地域の雇用・経済に及ぼす影響を最小限にとどめる。
- (2) 不良債務は一般会計からも計画的な支援を受けることで解消

#### 4. 計画期間

経営健全化計画の計画期間は、市からの支援を受けるため、短期間であれば市における急激な財政負担が生じ、市そのものが早期健全化団体に近づく可能性が高くなる。

このようなことから、計画期間は平成21年度から32年度までの12年間とし、平成21年度から平成24年度を第1期、平成25年度から平成28年度までを第2期、平成29年度から平成32年度を第3期として、当面4年間ごとの目標を設定するとともに、4年間ごとに事業存廃を含めた検討を行なう。

#### 5. 資金不足比率を経営健全化基準未滿とするための方策

- (1) 保養センター特別会計に対する一般会計からの繰出基準等について
  - ①企業債元利償還及び一時借入金元利償還について繰り出す。
  - ②施設改修分について繰り出す。
- (2) 指定管理者の納付金等について
  - ① 次の納付金については、企業債元利償還及び一時借入金元利償還に充てる。
    - ア、一定額を施設利用料として市に納付する。
    - イ、営業によって得た利益で、別に定める金額以上の利益についてはその利益の2分の1を収益納付金として、市に納付する。
  - ② その他別に定める、運営上必要な経費については、指定管理者の負担とする。
- (3) 美榛苑を存続するにあたっての投資について
  - ① 当面、資金不足比率の解消に向けた経営健全化を図ることに専念し、大規模改修などの将来的な新たな投資は原則として行なわない。
  - ② 経常的な修繕や耐震診断など、利用者サービスの維持や施設の安全確保に向けた取り組みについては従前どおり実施する。
- (4) 効率的かつ効果的な経営について
  - ①経営改善努力の継続  
経営状況の確認、収益目標についてプロジェクトチームを立ち上げるなど、達成度の検証体制を確立するとともに、指定管理者との連携を密にした取り組みをより一層推進し、観光の拠点として宇陀市周辺地域の観光資源を活用し、地域と連携することによる滞在型観光の拠点とすること。
  - ②地域振興をになう経営努力  
経済効果コンサルティングの結果をふまえ、これまで美榛苑が地域に果たしてきた役割を再認識しつつ、時代の流れに則した経営の在り方について見直しを図るとともに、さらなるサービスの向上のため、次の取り組みをより一層推進する。
    - ア、地元業者との連携をさらに深め地域経済の拠点とすること。
    - イ、活気あふれる人材の創出などいきいきとした従業員の雇用の場であること。

保養センター美構苑事業 収支決算関係の分析

年度	総収益		総費用		純利益	欠損・剰余金	資本的収入		資本的支出		不良債務 流動資産-流動負債	一時借入金	備考欄
	繰入	繰入	減価償却	その他事業費用			計	計	一般会計	企業債発行			
昭57年度	228,392		16,106	11,196	205,418	0	277,800	0	277,800	3,632	0	3,632	
昭58年度	228,795		19,279	10,383	211,755	▲ 6,328	▲ 6,328	0	0	3,300	0	7,740	
昭59年度	270,899		19,066	10,896	224,255	▲ 12,622	▲ 18,950	0	0	1,430	0	5,870	
昭60年度	289,701		18,720	10,991	239,490	▲ 2,268	▲ 2,268	0	0	629	0	12,485	
昭61年度	320,678		17,956	10,934	256,314	18,810	54,284	0	0	130	0	12,408	
昭62年度	297,687		17,150	10,593	246,887	67,012	10,000	0	10,000	31,989	0	44,889	温泉試掘
昭63年度	322,602		16,301	11,295	271,513	23,493	56,090	0	39,000	72,359	0	85,995	温泉掘削
平成元年度	359,903		17,293	13,091	303,852	34,758	0	497,200	497,200	542,972	0	557,292	新館工事
平成2年度	507,823		47,217	30,038	394,525	47,380	50,000	0	50,000	108,345	0	123,399	事務所改築
平成3年度	567,068		46,173	33,771	449,452	37,672	85,052	0	0	12,228	0	28,111	
平成4年度	616,140		45,092	34,358	504,912	31,778	103,058	0	0	18,023	0	31,795	
平成5年度	658,044		47,079	36,718	545,326	28,921	107,738	0	309,176	332,070	0	363,994	別館・駐車場増設
平成6年度	883,434		67,503	37,989	723,404	54,538	97,261	0	338,624	457,634	0	491,695	別館
平成7年度	931,016		67,835	53,696	771,990	37,495	70,955	0	0	82,674	0	119,017	
平成8年度	924,505		70,805	61,135	831,055	▲ 38,490	▲ 34,490	0	338,900	417,588	0	459,960	宴会場・駐車場工事
平成9年度	888,517		73,207	74,648	796,206	▲ 55,544	▲ 90,034	0	0	5,424	0	73,320	▲ 35,000
平成10年度	799,147		69,398	71,485	727,407	▲ 69,143	▲ 159,177	0	0	714	0	72,564	▲ 150,000
平成11年度	710,734		65,109	72,554	672,258	▲ 99,187	▲ 258,364	0	0	178	0	87,517	▲ 250,000
平成12年度	673,981		60,245	68,885	658,682	▲ 113,831	▲ 372,195	0	0	842	0	96,095	▲ 390,000
平成13年度	664,805	70,230	55,011	67,752	597,795	▲ 55,753	▲ 427,948	47,750	0	48,529	0	149,858	▲ 500,000 玄関ロビー・客室1・2階
平成14年度	628,678	50,000	49,921	68,213	560,495	▲ 49,951	▲ 477,899	0	0	969	0	82,745	▲ 530,000
平成15年度	570,751		45,922	65,026	552,342	▲ 92,539	▲ 570,438	0	0	851	0	86,626	▲ 637,819
平成16年度	544,509		41,717	62,666	554,211	▲ 114,085	▲ 684,523	0	0	2,343	0	92,325	▲ 801,563
平成17年度	552,914		37,292	61,146	560,192	▲ 105,716	▲ 790,239	0	0	402	0	94,807	▲ 920,940
平成18年度	514,696		32,638	53,438	561,684	▲ 133,064	▲ 923,303	0	0	470	0	99,529	▲ 1,100,000
平成19年度	494,362		27,742	50,204	554,405	▲ 137,989	▲ 1,062,270	0	0	500	0	103,955	▲ 1,312,310
平成20年度	523,180	55,215	22,589	48,440	531,339	▲ 79,188	▲ 1,141,458	53,893	0	4,462	0	113,569	▲ 1,402,521
平成21年度	526,275	150,000	17,211	48,161	496,651	35,748	▲ 1,27,206	30,000	0	30,999	0	142,092	▲ 1,450,000 本館トイレ設置工事
平成22年度	332,920	150,000	12,413	49,477	250,653	20,377	▲ 1,106,829	0	0	940	0	69,099	▲ 1,449,925 本館厨房設備
平成23年度	55,973	25,564	9,636	40,593	1,909	3,835	▲ 1,102,993	74,436	0	2,939	0	73,875	▲ 1,404,796 地上デジタルテレビ設置

## 6. 各年度の方策に係る収入及び支出に関する計画

(1) 収入・支出に関する計画

(別紙の収支計画を参照)

(2) 各期の目標

第1期 (H21~H24)	第2期 (H25~H28)	第3期 (H29~H32)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 直営から指定管理者等民営に完全移行 (H23)</li> <li>・ 美榛苑創業 30 周年記念イベント (H23)</li> <li>・ 事業継続の有無検証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定管理者によるさらなるサービスの向上により収益アップを図る。</li> <li>・ 地域振興への貢献を図る</li> <li>・ 指定管理者再指定手続き (H27)</li> <li>・ 事業継続の有無検証</li> <li>・ 経営健全化計画の中間年度見直し (26)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 魅力ある企画、営業活動による収益維持又はUP</li> <li>・ 資金不足比率の健全化基準未滿の解消 (~H32)</li> <li>・ 事業継続の有無検証</li> </ul>

## 7. 各年度ごとの資金不足比率の見通し

(千円:%)

年度	事業規模	流動負債	流動資産	企業債償還済額	減価償却済額	解消可能資金不足額	資金不足額	資金不足比率 (%)	行財政措置等
平成20	463,836	1,420,319	17,797	1,352,078	1,131,270	126,081	1,276,441	275.1	補助金・出資金 109,108
平成21	423,131	1,477,525	26,800	1,463,171	1,179,038	218,195	1,232,530	291.2	補助金・出資金 180,000
平成22	371,327	1,450,968	1,043	1,531,330	1,226,579	210,486	1,239,439	333.7	補助金・出資金 150,000 指定管理者完全移
平成23	362,952	1,406,000	1,203	1,602,266	1,269,500	257,228	1,147,569	316.1	補助金・出資金 100,000
平成24	365,000	1,358,000	2,539	1,676,094	1,310,359	286,005	1,069,456	293.0	補助金・出資金 100,000
平成25	380,000	1,234,364	2,148	1,744,754	1,349,034	68,855	1,163,361	306.1	補助金・出資金 167,000
平成26	380,000	1,064,814	2,199	1,769,267	1,386,964	250,791	811,824	213.6	補助金・出資金 167,000
平成27	380,000	895,364	2,525	1,794,586	1,422,518	269,752	623,087	163.9	補助金・出資金 167,000
平成28	380,000	707,314	3,345	1,800,701	1,457,414	343,286	360,683	94.9	補助金・出資金 167,000
平成29	385,000	531,064	3,345	1,800,701	1,492,099	0	527,719	137.0	補助金・出資金 147,000
平成30	385,000	354,734	3,432	1,800,701	1,526,273	0	351,302	91.2	補助金・出資金 147,000
平成31	385,000	178,182	3,473	1,800,701	1,560,298	0	174,709	45.3	補助金・出資金 147,000
平成32	385,000	0	3,424	1,800,701	1,593,995	0	0		補助金・出資金 144,300

(収益的収支)

収 支 計 画

区 分	年 度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		1. 営業収入	463,836	423,131	171,837	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(1) 料 金 収 入	459,182	419,956	170,564	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 受 託 工 事 収 入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(3) そ の 他	4,654	3,175	1,273	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 営業外収入	59,344	153,144	161,094	55,973	56,581	130,349	130,349	172,896	172,091	191,293	177,409	177,409	177,409	174,709
(1) 補助金	55,214	150,000	158,571	25,564	26,172	99,940	99,940	142,487	141,682	160,884	147,000	147,000	147,000	144,300
他 他 計 補 助 金	55,214	150,000	158,571	25,564	26,172	99,940	99,940	142,487	141,682	160,884	147,000	147,000	147,000	144,300
(2) 収益金	4,130	3,144	2,523	8,571	8,571	28,571	28,571	28,571	28,571	28,571	28,571	28,571	28,571	28,571
(3) その他	523,180	576,275	332,921	55,973	56,581	130,349	130,349	172,896	172,091	191,293	177,409	177,409	177,409	174,709
1. 営業収入	561,149	526,441	281,387	40,592	40,933	40,199	40,199	37,930	35,554	34,896	34,685	34,174	34,024	33,697
(1) 職 員 給 与	230,548	218,777	111,692	0	74	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基 礎 給 当	150,002	145,971	86,922	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退 職 手 当	6,033	5,611	6,692	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	74,513	67,195	74,710	0	74	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経 費	282,161	259,503	120,218	0	0	1,524	1,524	0	0	0	0	0	0	0
力 修 繕 費	54,193	49,309	25,733	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建 築 費	7,209	7,037	7,800	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
材 料 費	127,432	118,516	50,933	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	93,327	84,641	35,752	0	0	1,524	1,524	0	0	0	0	0	0	0
(3) 減 価 償 却 費	48,440	48,161	49,477	40,592	40,859	38,675	37,930	35,554	34,896	34,685	34,174	34,024	33,697	
2. 営業外収入	41,219	35,582	31,154	11,546	8,601	5,652	5,652	3,285	2,320	1,487	1,169	993	817	639
(1) 支 払 金	41,215	35,582	31,154	11,088	8,150	5,189	5,189	2,832	1,857	1,024	706	530	354	176
(2) そ の 他	4	0	0	460	451	463	463	463	463	463	463	463	463	463
支 出 の 計	602,368	562,023	312,541	52,138	49,534	45,851	41,225	37,874	36,383	35,854	35,167	34,841	34,336	34,336
(C)-(D)	△ 79,188	14,252	20,360	3,835	7,047	84,498	131,671	131,671	134,217	154,910	141,555	142,242	142,568	140,373
経 常 損 益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(E)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(F)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(G)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(H)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(I)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(J)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(K)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(L)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(M)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(N)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(O)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(P)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(Q)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(R)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(S)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(T)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(U)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(V)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(W)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(X)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(Y)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(Z)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
繰 越 利 益 剰 余 金	1,141,457	△ 1,127,205	△ 1,106,825	△ 1,102,990	△ 1,095,943	△ 1,011,445	△ 879,774	△ 745,557	△ 590,647	△ 449,092	△ 306,850	△ 164,292	△ 23,909	△ 23,909
繰 越 利 益 剰 余 金	1,141,457	△ 1,127,205	△ 1,106,825	△ 1,102,990	△ 1,095,943	△ 1,011,445	△ 879,774	△ 745,557	△ 590,647	△ 449,092	△ 306,850	△ 164,292	△ 23,909	△ 23,909
繰 越 利 益 剰 余 金	1,141,457	△ 1,127,205	△ 1,106,825	△ 1,102,990	△ 1,095,943	△ 1,011,445	△ 879,774	△ 745,557	△ 590,647	△ 449,092	△ 306,850	△ 164,292	△ 23,909	△ 23,909
繰 越 利 益 剰 余 金	1,141,457	△ 1,127,205	△ 1,106,825	△ 1,102,990	△ 1,095,943	△ 1,011,445	△ 879,774	△ 745,557	△ 590,647	△ 449,092	△ 306,850	△ 164,292	△ 23,909	△ 23,909
繰 越 利 益 剰 余 金	1,141,457	△ 1,127,205	△ 1,106,825	△ 1,102,990	△ 1,095,943	△ 1,011,445	△ 879,774	△ 745,557	△ 590,647	△ 449,092	△ 306,850	△ 164,292	△ 23,909	△ 23,909
繰 越 利 益 剰 余 金	1,141,457	△ 1,127,205	△ 1,106,825	△ 1,102,990	△ 1,095,943	△ 1,011,445	△ 879,774	△ 745,557	△ 590,647	△ 449,092	△ 306,850	△ 164,292	△ 23,909	△ 23,909
繰 越 利 益 剰 余 金	1,141,457	△ 1,127,205	△ 1,106,825	△ 1,102,990	△ 1,095,943	△ 1,011,445	△ 879,774	△ 745,557	△ 590,647	△ 449,092	△ 306,850	△ 164,292	△ 23,909	△ 23,909
繰 越 利 益 剰 余 金	1,141,457	△ 1,127,205	△ 1,106,825	△ 1,102,990	△ 1,095,943	△ 1,011,445	△ 879,774	△ 745,557	△ 590,647	△ 449,092	△ 306,850	△ 164,292	△ 23,909	△ 23,909
繰 越 利 益 剰 余 金	1,141,457	△ 1,127,205	△ 1,106,825	△ 1,102,990	△ 1,095,943	△ 1,011,445	△ 879,774	△ 745,557	△ 590,647	△ 449,092	△ 306,850	△ 164,292	△ 23,909	△ 23,909
繰 越 利 益 剰 余 金	1,141,457	△ 1,127,205	△ 1,106,825	△ 1,102,990	△ 1,095,943	△ 1,011,445	△ 879,774	△ 745,557	△ 590,647	△ 449,092	△ 306,850	△ 164,292	△ 23,909	△ 23,909
繰 越 利 益 剰 余 金	1,141,457	△ 1,127,205	△ 1,106,825	△ 1,102,990	△ 1,095,943	△ 1,011,445	△ 879,774	△ 745,557	△ 590,647	△ 449,092	△ 306,850	△ 164,292	△ 23,909	△ 23,909
繰 越 利 益 剰 余 金	1,141,457	△ 1,127,205	△ 1,106,825	△ 1,102,990	△ 1,095,943	△ 1,011,445	△ 879,774	△ 745,557	△ 590,647	△ 449,092	△ 306,850	△ 164,292	△ 23,909	△ 23,909
繰 越 利 益 剰 余 金	1,141,457	△ 1,127,205	△ 1,106,825	△ 1,102,990	△ 1,095,943	△ 1,011,445	△ 879,774	△ 745,557	△ 590,647	△ 449,092	△ 306,850	△ 164,292	△ 23,909	△ 23,909
繰 越 利 益 剰 余 金	1,141,457	△ 1,127,205	△ 1,106,825	△ 1,102,990	△ 1,095,943	△ 1,011,445	△ 879,774	△ 745,557	△ 590,647	△ 449,092	△ 306,850	△ 164,292	△ 23,909	△ 23,909
繰 越 利 益 剰 余 金	1,141,457	△ 1,127,205	△ 1,106,825	△ 1,102,990	△ 1,095,943	△ 1,011,445	△ 879,774	△ 745,557	△ 590,647	△ 449,092	△ 306,850	△ 164,292	△ 23,909	△ 23,909
繰 越 利 益 剰 余 金	1,141,457	△ 1,127,205	△ 1,106,825	△ 1,102,990	△ 1,095,943	△ 1,011,445	△ 879,774	△ 745,557	△ 590,647	△ 449,092	△ 306,850	△ 164,292	△ 23,909	△ 23,909
繰 越 利 益 剰 余 金	1,141,457	△ 1,127,205	△ 1,106,825	△ 1,102,990	△ 1,095,943	△ 1,011,445	△ 879,774	△ 745,557	△ 590,647	△ 449,092	△ 306,850	△ 164,292	△ 23,909	△ 23,909
繰 越 利 益 剰 余 金	1,141,457	△ 1,127,205	△ 1,106,825	△ 1,102,990	△ 1,095,943	△ 1,011,445	△ 879,774	△ 745,557	△ 590,647	△ 449,092	△ 306,850	△ 164,292	△ 23,909	△ 23,909
繰 越 利 益 剰 余 金	1,141,457	△ 1,127,205	△ 1,106,825	△ 1,102,990	△ 1,095,943	△ 1,011,445	△ 879,774	△ 745,557	△ 590,647	△ 449,092	△ 306,850	△ 164,292	△ 23,909	△ 23,909
繰 越 利 益 剰 余 金	1,141,457	△ 1,127,205	△ 1,106,825	△ 1,102,990	△ 1,095,943	△ 1,011,445	△ 879,774	△ 745,557	△ 590,647	△ 449,092	△ 306,850	△ 164,292	△ 23,909	△ 23,909
繰 越 利 益 剰 余 金	1,141,457	△ 1,127,205	△ 1,106,825	△ 1,102,990	△ 1,095,943	△ 1,011,445	△ 879,774	△ 745,557	△ 590,647	△ 449,092	△ 306,850	△ 164,292	△ 23,909	△ 23,909
繰 越 利 益 剰 余 金	1,141,457	△ 1,127,205	△ 1,106,825	△ 1,102,990	△ 1,095,943	△ 1,011,445	△ 879,774	△ 745,557	△ 590,647	△ 449,092	△ 306,850	△ 164,292	△ 23,909	△ 23,909
繰 越 利 益 剰 余 金	1,141,457	△ 1,127,205	△ 1,106,825	△ 1,102,990	△ 1,095,943	△ 1,011,445	△ 879,774	△ 745,557	△ 590,647	△ 449,092	△ 306,850			

(資本的収支)

収 支 計 画

(単位:千円)

区 分	年 度												
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
資本的収入	1. 企業 債 金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2. 他会計出資金	53,894	30,000	0	74,436	103,828	70,060	24,513	25,318	6,116	0	0	0
	3. 他会計補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. 他会計負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5. 他会計借入金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6. 国(都道府県)補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7. 固定資産売却代金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8. 工事負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計 (A)	53,894	30,000	0	74,436	103,828	70,060	24,513	25,318	6,116	0	0	0	0
(A)のうち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額 (B)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
純計 (A)-(B) (C)	53,894	30,000	0	74,436	103,828	70,060	24,513	25,318	6,116	0	0	0	0
資本的支出	1. 建設改良費	4,462	30,999	0	3,000	30,000	1,400	0	0	0	0	0	0
	うち職員給与費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2. 企業債償還金	109,108	111,094	68,159	70,936	73,828	68,660	24,513	25,318	6,116	0	0	0
	3. 他会計長期借入返還金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. 他会計への支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計 (D)	113,570	142,093	68,159	73,936	103,828	70,060	24,513	25,318	6,116	0	0	0	0
資本的収入額が資本的支出額に不足する額 (E)-(D)-(C)	59,676	112,093	68,159	△ 500	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補てん財源	1. 損益勘定留保資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2. 利益剰余金処分額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計 (F)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補てん財源不足額 (E)-(F)	59,676	112,093	68,159	△ 500	0	0	0	0	0	0	0	0	0

○他会計繰入金

(単位:千円)

区 分	年 度												
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
収益的収支分	55,214	150,000	150,000	25,564	26,172	99,940	142,487	141,682	160,884	147,000	147,000	147,000	144,300
	55214	150,000	150,000	25,564	26,172	99,940	142,487	141,682	160,884	147,000	147,000	147,000	144,300
	うち基準外繰入金	0	0	0	74,436	103,828	70,060	24,513	25,318	6,116	0	0	0
資本的収支分	53,894	30,000	0	74,436	103,828	70,060	24,513	25,318	6,116	0	0	0	0
	53,894	30,000	0	74,436	103,828	70,060	24,513	25,318	6,116	0	0	0	0
うち基準外繰入金	53,894	30,000	0	74,436	103,828	70,060	24,513	25,318	6,116	0	0	0	0

## 8. その他経営の健全化に必要な事項

### (1) 経営形態の変更時期について

経営形態の変更については、次の工程を予定している。

- 平成 21 年度 指定管理者条項の追加に係る関係条例の一部改正
- 平成 22 年度 指定管理候補者の公募  
指定管理者候補者の選考  
指定管理者候補者の決定と議会での指定管理者指定と期間の承認  
指定管理者との協定締結と指定管理者による営業開始（下半期）
- 平成 23 年度 指定管理者に完全移行
- 平成 24 年度 第 1 期指定管理期間終了
- 平成 25 年度 第 2 期指定管理期間開始

### (2) 投資計画など将来負担について

今後の負担については、耐震化工事や施設、設備の修繕、投資が見込まれるが、これは今後の目標の実現に向けて、収益を確保するために必要なものであり、その実施については、必要最小限とすることを基本に、経営状況においてその都度判断するものとする。

宇陀市保養センター美榛苑  
**経営健全化計画**  
【平成21年度～平成32年度】  
平成25年3月策定  
奈良県 宇陀市